

## 公共図書館における障害者サービスについて調査しました

図書館調査研究レポート No.17

『公共図書館における障害者サービスに関する調査研究』をぜひご利用ください

**URL: <http://current.ndl.go.jp/report/no17>**

平成29年度に国立国会図書館が実施した、公共図書館における障害者サービスに関する調査研究の報告書を公開しました。多くの方にご利用いただければ幸いです。

### ■調査の概要

国内の全公共図書館を対象として、障害者サービスの実施状況に関する質問紙調査を実施しました。1,397館に質問紙を送付し、その82.5%に当たる1,152館から回答を得ることができました。調査結果の分析では、全14章からなる報告書を作成しました。当館では平成22年度にも同じテーマで調査研究を実施しており、前回調査結果からの変化も分析対象としました。報告書には、質問紙本体と質問紙調査の集計結果も収録しています。

### ■調査結果

調査を通じて次のような点が明らかになりました。

- 障害者向け資料の個人貸出しについて、貸出しを実施している図書館と貸出しの実績がある図書館の割合に開きがあり、貸出しサービスの実施が必ずしも利用に結びついていない。
- 利用者が図書館に来館せずとも録音資料を利用できる体制を整えている図書館は全体の17.6%、音訳者の維持に密接に関わる録音資料の資料製作と対面朗読の実施体制が整備されている図書館は、全体の10.0%であった。
- 図書館ホームページでの障害者への配慮については、実施割合の高い項目でも2割台前半にとどまっており、一層のウェブアクセシビリティの向上が求められる。
- DAISY形式（デジタル録音図書国際標準規格）で録音資料を所蔵・製作している図書館は前回調査時からほぼ倍増（所蔵306館、製作154館）している。
- 障害者利用に配慮した設備・機器の整備は前回調査時から進んできている。

### ■お問い合わせ

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103

## ■主な目次

第1章 調査の概要

第2章 調査結果の要説

第3章 都道府県立図書館の取組

第4章 障害者サービスの利用者

第5章 蔵書構築

第6章 資料提供、サービスの体制

第7章 対面朗読

第8章 病院・施設・学校等へのサービスの実施状況

第9章 資料製作

第10章 施設・設備

第11章 職員体制

第12章 広報・イベント

第13章 障害者差別解消法施行を受けての各図書館の取組

第14章 障害者サービスのこれから（実態調査から見えてきたこと）

資料編

付録資料 質問紙調査 調査票